

5年	科目	経済学	講義	前期または後期	担当	小柳敦史 KOYANAGI Atsushi
全学科共通		Economics	選択	2学修単位（講義30+ 自学自習60）		
<b>授業の概要</b> 本講義では、われわれが生活している社会の仕組みを経済学的視点から分析する方法を学ぶ。経済学の基本的な考え方について概観した後、ミクロ経済学とマクロ経済学という経済学の二大分野の原理を学習する。						
本校学習・教育目標(本科のみ)		目標	説明			
	○	1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度			
		2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力			
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力			
		4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力			
		5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢			
プログラム学習・教育目標 (プログラム対象科目のみ)		実践指針 (プログラム対象科目のみ)		実践指針のレベル (プログラム対象科目のみ)		
<b>授業目標</b> ・経済学の基本的な考え方を理解し、社会の経済的側面について適切な用語やモデルを用いて説明できる。 ・市場主義経済の利点と限界を理解し、現代経済の問題についてある程度の妥当性のある根拠に基づいて自らの判断を示すことができる。						
<b>授業計画</b>						
第1回	オリエンテーション	授業の進め方と経済学を学ぶ意味				
第2回	経済学の考え方(1)	経済学の10大原理				
第3回	経済学の考え方(2)	生産可能性フロンティア、フロー循環図、相互依存と交易				
第4回	ミクロ経済学(1)	市場における需要と供給の作用				
第5回	ミクロ経済学(2)	需要、供給、および政府の政策				
第6回	ミクロ経済学(3)	消費者、生産者、市場の効率性				
第7回	ミクロ経済学(4)	外部性				
第8回	中間試験					
第9回	マクロ経済学(1)	国民所得の測定				
第10回	マクロ経済学(2)	生計費の測定				
第11回	マクロ経済学(3)	生産と成長				
第12回	マクロ経済学(4)	貯蓄、投資と金融システム				
第13回	マクロ経済学(5)	総需要と総供給				
第14回	マクロ経済学(6)	開放マクロ経済学: 基本的概念				
第15回	マクロ経済学のまとめ	貨幣が人間社会にもたらすもの				
	期末試験					
第16回	現代経済の諸問題	最新の現代経済の問題について検討する。				
評価方法 と基準	自習課題30%、中間試験30%、期末試験40%。					
教科書等	『マンキュー入門経済学』[第2版](東洋経済新報社、2014年)					
備考	1.D科、S科、C科は前期に、M科、E科は後期に実施。 2.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 3.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。					